

2019

ThreeBond

RACE REPORT

Vol.06



Round 13/Round 14/Round15 7月27日(土)/7月28日(日) スポーツランドSUGO

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生 6 - 1
TEL: 0224-83-3111
<https://www.sportsland-sugo.co.jp/>



コース全長 : 3,704.256m
コース幅 : 10~12.5m
高低差 : 69.83m
直線長 : 704.5m

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

RACE REPORT

☀ 天候：晴れ
 気温：32℃

悩み多き SUGO...

全日本 F3 選手権 Round 6 (第 13 戦、第 14 戦、第 15 戦) が、7 月 27 日 (土) ~28 日 (日) にかけて宮城県のスポーツランド SUGO で開催された。

7 月 25 日 (木) からの専有走行セッションから走行を開始したが、しかし #13 三浦選手は前大会のレース中、アクシデントに見舞われた際に左手首の靭帯を傷めており、十分に回復していないことが判明したため、金曜日以降の走行を断念、本大会は欠場することとなった。



#12 大津選手 予選 11 番手

#13 三浦選手 欠場

▽公式予選

台風 6 号が熱帯低気圧に変わった後、東北地方に接近したため 7 月 27 日 (土) 夜中に雨が降ったが、朝を迎える頃には雲は厚いものの、ほぼ雨は止み、公式予選セッションは一部濡れた路面が残ってはいるもののほぼドライコンディションとなった。

前日までの専有走行セッションを通し、ユーズドタイヤではタイムが出るがニュータイヤにしたときのタイム上昇幅が小さい傾向が確認されており、チームは基本 2 セットで予選タイムアタックを行い 1 セット目は決勝レースに温存する基本方針ながら、状況次第では 3 セット目も予選に投入する準備を進めた。

蒸し暑い中、#12 大津選手は 1 セット目のタイムアタックで 1 分 14 秒 660 を記録してピットに帰還した。この段階で #12 大津選手の順位は 9 番手。チームは 2 セット目のニュータイヤへ交換して #12 大津選手をコースへ送り出した。#12 大津選手は自己ベストを更新して 1 分 14 秒 514 を記録したが順位は 10 番手へ降格した。ここでチームは 3 セット目のニュータイヤ投入を決め、#12 大津選手をピットへ呼び戻してタイヤを交換するとともにウイング角度を調節してダウンフォースを減らしトップスピードを伸ばすセッティングを施した。

コースへ戻った #12 大津選手は 3 回目のタイムアタックにかかり、1 分 13 秒 997 を記録、次の周回には 1 分 14 秒 261 を記録した。しかし上位のタイムには届かず、第 13 戦、第 14 戦ともスターティンググリッドは不本意な 11 番手と決まった。

<第 13 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'12.707
2	11	Sacha Fenestraz	1'12.866
3	65	Enaam Ahmed	1'12.874
4	37	小高 一斗	1'13.077
5	28	Harrison Newey	1'13.440
6	8	片山 義章	1'13.488
7	2	大湯 都史樹	1'13.650
8	35	河野 駿佑	1'13.656
9	7	Esteban Muth	1'13.674
10	51	Ameya Vaidyanathan	1'13.985
11	12	大津 弘樹	1'13.997

<第 14 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	65	Enaam Ahmed	1'12.885
2	36	宮田 莉朋	1'13.025
3	11	Sacha Fenestraz	1'13.026
4	37	小高 一斗	1'13.148
5	8	片山 義章	1'13.575
6	28	Harrison Newey	1'13.596
7	35	河野 駿佑	1'13.668
8	2	大湯 都史樹	1'13.791
9	7	Esteban Muth	1'13.807
10	51	Ameya Vaidyanathan	1'14.000
11	12	大津 弘樹	1'14.261



2019

ThreeBond

RACE REPORT

第13戦 決勝 Race

☀️ 天候: 曇り
🌡️ 気温: 33℃

抜けないSUGOに苦戦...

▽第13戦

7月27日(土)午後2時30分、第13戦決勝レースが始まった。

雲が切れ夏の太陽が照りつけた結果、気温は34度に達した。

予選上位の#7 エステバン・ムース選手がエンジン交換規定違反による5グリッド降格処分を受けたため、#12 大津選手は10番手グリッドについた。

チームはコンディションを考慮し、グリップを上げるためスターティンググリッドで車高を下げるとともに、タイヤ消耗を抑制するためアンチロールバーを柔らかい方向へ振る最終セッティングを行った。

スタート合図でうまく加速した#12 大津選手は2コーナーで前を行く#51 アメヤ・ベイディアナサン選手をかわして9番手に進出した。1周目を終えた時点で前を行く#35 河野駿佑選手との間隔は0秒392。その後間隔は徐々に開き10周目には0秒731となった。

18週のレース後半、#12 大津選手は自分のペースを守りながら一旦開いた前走車との間隔を縮め始めた。周回毎にコンマ1秒弱を縮め、最終ラップに入る段階で間隔は0秒381となった。しかし抜きどころの少ないSUGOでは結局オーバーテイクには届かず、0秒276差の9位でレースを終えた。



第13戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	22'41.594
2	11	Sacha Fenestraz	22'44.649
3	37	小高 一斗	22'46.706
4	65	Enaam Ahmed	22'50.284
5	28	Harrison Newey	22'54.869
6	2	大湯 都史樹	22'58.588
7	8	片山 義章	23'03.491
8	35	河野 駿佑	23'07.745
9	12	大津 弘樹	23'08.021
10	51	Ameya Vaidyanathan	23'08.979

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

第14戦 決勝 Race

☀ 天候：晴れ
🌡 気温：33℃

好機を掴めず…

▽第14戦

熱帯低気圧の接近で天候の悪化が心配された7月28日(日)は、前夜に降雨があったものの、朝を迎えたスポーツランドSUGOの上空では雲が切れ、青空がのぞく天候となった。早朝から蒸し暑く、午前10時からの第14戦決勝レースがスタートする前には気温は28度を超えたが、前日の第13戦決勝レースに比べると低い。

路面はほぼドライコンディションとなり、#12 大津選手は予選で最初のタイムアタックをする際に用いたタイヤを装着してスターティンググリッドについた。第13戦の状況を見てチームはセッティングを微調整しレースに臨んだ。

11番手からスタートした#12 大津選手は今回も好加速、第3コーナーの進入で前を行く#51 アメヤ・ベイディアナサン選手のインに飛び込み、#35 河野駿佑選手の背後について10番手で1周目を終えた。

#12 大津選手は、その後#35 河野選手と共に#7 エステバン・ムース選手に迫り、8番手争いを始めた。ニュータイヤを使った予選タイムアタックでは苦戦した#12 大津選手だったが、決勝レースのペースは前を走る2台よりも良く、なんとか前へ抜け出そうとするがオーバーテイクには至らない。結局、#7 エステバン・ムース選手、#35 河野選手に抑え込まれた形で18周を走り終えチェッカーフラッグを受けた。



第14戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	65	Enaam Ahmed	22'34.529
2	11	Sacha Fenestraz	22'36.343
3	36	宮田 莉朋	22'37.831
4	37	小高一斗	22'43.448
5	8	片山 義章	22'47.904
6	28	Harrison Newey	22'48.333
7	2	大湯 都史樹	22'52.781
8	7	Esteban Muth	22'59.813
9	35	河野 駿佑	23'00.284
10	12	大津 弘樹	23'00.798

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

第15戦 決勝 Race

一転、快走の第15戦！！

☀ 天候：晴れ
🌬 気温：34℃

▽第15戦

天気予報では突然の豪雨の可能性も示唆されてはいたが、スポーツランドSUGOの天候はますます好天へ向かい、午後2時20分からの第15戦は照りつける太陽の下でスタートすることとなった。

第13戦、第14戦ともに、#35 河野選手の背後に付きながらオーバーテイクができないまま終わる展開となったことを考慮したチームは、前後のウイングを3ホールずつ寝かせてダウンフォースを減らすと共に、リヤのアンチロールバーを柔らかい方向へ振る、大幅なセッティング変更に踏み切った。ダウンフォースを減らしトップスピードを引き上げてオーバーテイクにつなげる作戦だ。

「本来、ストレートでスピードのアドバンテージを確実に取るには5ホールくらいウイングを寝かさないといけないんですが、そうするとダウンフォースが小さい分、コーナーからの脱出の際にリヤタイヤがグリスになって加速が遅れたりタイヤ消耗が進んだりする可能性が高まります」と伊与木仁エンジニア。トップスピードとコーナリングスピードを両立させるためダウンフォース削減は3ホールに止め、柔らかいアンチロールバーと組み合わせることでタイヤの負担を減らすセッティングを施したマシンで#12 大津選手はコースイン、2周した後、第13戦のレース結果に従って9番手のスターティンググリッドについた。グリッド上で#12 大津選手と伊与木エンジニアは再度ウイングを5ホール寝かせるセッティングについて話し合ったが最終的には3ホールのままスタートすることを決めた。

気温30度を超えるコンディションでスタートが切られ、#12 大津選手は9番手ポジションを確保して第1コーナーに飛び込みレースを始めた。前方には#35 河野選手がいる。その後コンマ5秒弱の間隔で周回を重ねた#12 大津選手はオーバーテイクのチャンスを狙い、9周目、馬の背コーナーでインを奪って8番手へ進出した。この時点で3秒弱前方に7番手の#8 片山義章選手が走っていた。#12 大津選手はハイペースで周回毎に間隔を縮めると19周目には0秒917まで追いついた。しかし追い上げはここまでで、オーバーテイクには至らず25週のレースは終わりチェッカーフラッグが振り下ろされた。シリーズ第7大会（第16戦、第17戦、第18戦）は、8月17日から18日、栃木県のツインリンクもてぎで開催される。



第15戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	31'32.622
2	11	Sacha Fenestraz	31'37.446
3	37	小高 一斗	31'42.401
4	65	Enaam Ahmed	31'43.384
5	28	Harrison Newey	31'53.806
6	2	大湯 都史樹	31'54.143
7	8	片山 義章	31'57.313
8	12	大津 弘樹	31'58.476
9	35	河野 駿佑	32'08.039
10	7	Esteban Muth	32'08.674

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リボビタンD

RACE REPORT

ドライバーコメント

▽ #12 大津 弘樹選手

予選はニュータイヤでのタイムの伸びしろが少なく、タイヤからグリップを100%引き出すためにドライビングも見直すべきだなと感じました。しかし、決勝レースでのアベレージタイムは悪くはなかったと思います。ただSUGOは抜きにくいサーキットなので予選順位が尾を引いて順位を上げることができませんでした。第15戦ではダウンフォースも前後サスペンションの剛性も昨日から大きく変えて臨みました。グリッドが後方だったので思い切ったセッティングを選びました。トップスピードとタイヤの熱だれを差し引きすると少しプラスになるかなと考えた結論でした。結果的にフィーリングが良くなり上位と同レベルのペースで走れました。結果は残せませんでしたが、課題がはっきりわかったレースウィークでした。



▽ #13 三浦 愛選手

手の状態を考えると正直、レースは厳しいなと思ってサーキットに来たんですが、乗らずにあきらめるのも納得がいかず…。でも木曜日、コースインした瞬間からきつくて、周回を重ねる度に手が痛み出してしまったので、レースは無理だと自分で欠場を決めました。レースには出ませんでした。何かを持って帰ろうと思ってレースを観ました。私は、クルマも仕上げ切れていないし自分自身も攻め切れていない、その両方があるって今この順位しか走っていないんだなという現実を客観的に冷静に見ることができて、いろんな収穫はたくさんありました。次のもてぎに向けて3週間、焦らずに手を治して終盤5戦、思い切り走って結果を出したいと思います。



FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

RACE REPORT

▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP		岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ		岡山						
1	Sacha Fenestraz	10	0	12	12	11	11	9	8	5	8	0	11	7	8	7						119	—
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12	0	0	1	6	10	5	12	DSQ	DSQ	6	12	5	11						91	28
4	Enaam Ahmed	5	7	5	5	DSQ	0	0	DNF	1	5	11	7	3	11	3						63	56
3	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1	1	0	1						49	70
5	小高 一斗/Kazuto Kotaka	3	5	1	1	2	-	-	-	7	3	3	2	5	3	5						40	79
7	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0	2	2	5	0	DNF	0	3	1	7	3	0	0	0						24	95
	三浦 愛/Ai Miura	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	119

*DNS : Do Not Start 棄権 *DNF : Do Not Finish リタイア *DSQ : Disqualified 失格

*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

▽チームランキング

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP		岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ		岡山						
1	B-MAX RACING with motopark	10	7	10	10	10	10	7	7	5	7	10	10	7	10	7						127	—
2	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10	1	1	2	5	10	5	10	3	3	5	10	5	10						87	40
3	TODA RACING	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1	1	0	1						49	78
4	OIRC team YTB	0	1	0	0	3	7	3	10	0	2	2	0	0	2	0						30	97
5	ThreeBond Racing	1	0	2	2	5	0	0	0	3	1	7	3	0	0	0						24	103
6	RS FINE	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0						9	118

